

# 教育センターだより

平成28年度 第2号

黒部市教育センター

## 授業—永遠の課題

黒部市立宇奈月小学校 校長 岩井 芳 生

「始めがあれば終わりがある」いよいよ私もあと半年あまりで38年間の教職生活にピリオドを打つこととなります。すでに閉校となった朝日町立境小学校が私の教師としての出発点でした。9名の子供たちとの新鮮な日々がつい昨日のここのようによみがえってきます。教え子や学校の思い出は尽きません。楽しいこと、うれしいこともあれば、つらいこと、悲しいこともありました。今、たいした教師ではなかった自分を省みても、教師になってよかった、「小学校の先生」になってよかったとしみじみ思っています。つたない指導力の自分についてきてくれた子供たち、そして、大切な時間を削って相談にのってくれた先輩・同僚の先生方には感謝しかありません。

さて、学校教育の中心は授業であり、授業を通して確かな学力を身に付けさせることが、学校の最大の責務であることにはだれも疑問をはさむ余地はないと思います。したがって、学校教育の質は、その学校の教師一人一人の授業力にかかっているといても過言ではありません。ただ、決して一人では授業力は向上しません。互いに学び合う教師集団が鍵となります。授業研究がなされない学校であるなら子供に力は付かないのです。これまでの自分の経験だけにたよって、授業改善がなされないなら、子供に対して無責任です。目の前の子供たちをしっかりと見つめ、単元全体で、1時間の授業でいかに子供たちの意欲を引き出し、主体的、協働的に学ばせるのか常に考える教師であってほしいのです。「チーム学校」として、校内研修を中心に、率直に意見を出し合い、切磋琢磨しながら授業力を高めていくことが、教師一人一人の授業改善につながるだけでなく、ひいては子供や保護者との信頼を深め、魅力ある学校が築きあげられていくのではないのでしょうか。また、子供はその教科の内容に正対するだけでなく、友達の考えや行動、教師の出方や問いかけなどにも対応して学んでいます。授業は学級経営の中で進められ、その雰囲気の中で醸成されるものです。一人学習の中で得た自分の考えも友達の考えを聞くことで見直しが図られます。授業の本質を知る教師は、授業は決して教科の枠の中だけにとどまらないということを知っています。ダイナミックに地域を生かし、地域の中に飛び出す授業も大切でしょう。思い切った挑戦が必要です。授業の中で子供たちに、学ぶ喜び、感動、分かたりできたりした成就感、達成感などを感じさせなければなりません。自分もやればできる、可能性があるという希望もてる楽しい授業であれば、黙っていても子供たちは自ら勉強するようになるでしょう。

「授業」という大きな山の麓にもたどりつけなかった自分であるからこそ、なお一層、これからの教育を担う教師には、よりよい授業を目指して、授業改善の道を根気強く歩いていってくださることを願っています。



校内研修の様子（宇奈月小）



# 市内小中学校に着任した 初任の先生方を紹介します。

## 「毎日が新しい発見」

**たかせ小学校 坪野裕貴**

1学期が終わり、ようやく教員生活にも少しずつ慣れてきました。この5か月間は毎日のように新しい発見があり、とても充実していた反面、子供への指導や日々の仕事等、苦労したことも多々ありました。しかし、日々成長していく子供たちを見ていると純粋に教員としての仕事が楽しく、頑張ろうという気持ちがわいてきます。

これからも周りの先生方や子供たちに支えられながら、初めてのことにどんどん向き合っ、成功したり失敗したりしながら成長していきたいと思ひます。

## 「楽しみが原動力」

**中央小学校 栗谷結希**

私は、何か楽しみなことが先にあると自然と頑張ることができひます。教員になって、その楽しみが増えひました。子供たちの分かつた時のキラキラした顔や、できた時の嬉しそうな顔を見ることです。毎日私の授業に一生懸命付いてこようとしてくれる子供たち。そんな中で見る子供たちの輝いた姿が私を励ましてくれます。これからも子供たちの輝きを引き出せるように、実態把握や教材研究に努め、自己研鑽を続けていきたいと思ひます。

## 「先生になって」

**桜井小学校 篠田咲月**

小学4年生のときから憧れていた教師という職につき、あつという間に5か月が経ちました。自分が「先生」になれているのかという不安を抱きつつ、教師の仕事量に圧倒される日々ですが、子供たちと過ごす毎日とはとても楽しいです。この1学期は1日1日を過ごすことだけで精一杯でした。2学期からは子どもたちが安心して過ごせる居心地のよい学級づくり、「できた！」がいはひの授業づくりを目指して、成長していきたいです。

## 「1年生」

**桜井小学校 新夕恭代**

入学式の日、初めて子供たちと出会い、私は「自分の学級を受け持つことができた」という喜びでいはひでした。しかし、実際に教壇に立ってみると、慣れない授業や学級運営に戸惑うばかりでした。それでも周りの先生方にたくさん支えられ、子供たちも私を信じてついてきてくれたおかげで1学期を無事に終えることができました。子供たちも1年生、私も先生の1年生で、右往左往する日々は続くと思ひますが、今後も子供たちと一緒に成長する気持ちで頑張っていきたいです。

### 「温かい保健室を目指して」

荻生小学校 三輪玲奈

4月から養護教諭としての新たな生活が始まりました。何事にも挑戦する心もちつつ、毎日楽しい日々を過ごしています。1学期を無事終えることができ、今まで学校で学んできたこと以外の仕事の多さに戸惑うこともあります。先生になった」という確かな実感が日々湧いてきます。これからも、子供の心身の健康を守ることを第一に考え、子供たちが笑顔の絶えない学校生活を送る事ができるように、温かい保健室づくりを目指していきたいと思います。

### 「生徒と共に」

鷹施中学校 清河ひかる

右も左も分からないまま始まった1学期も、あっという間に終わってしまいました。慣れないことばかりですが、毎日生徒の笑顔にパワーをもらって過ごしています。生徒は学校で多くの時間を過ごします。つまり教師が生徒に与える影響が大きいということになります。未来を担う子供たちを育てるべく、生徒と共に学び、成長できる教師になりたいと思います。まだまだ未熟者ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。

### 「1学期を振り返って」

高志野中学校 久郷雄一

1学期を振り返ってみると、さまざまな発見がありました。特に生徒たちは私自身を映し出す鏡のように感じるが多かったです。私のその時の心境が、そのまま生徒たちの表情に出ているように思い、責任の重さを痛感しました。また、生徒は言葉の捉え方も一人一人異なるので、伝え方に十分気を付けていきたいです。生徒一人一人を大切に、個に応じた対応を常に意識して向き合っていきたいと思います。

### 「一人一人との関わりを大切に」

桜井中学校 魚津夏希

新規採用として桜井中学校に赴任してから5か月が経ちました。家庭科教員が学校に1人しかいないこともあり、分からないことばかりで不安も感じていましたが、先輩の先生方に丁寧に教えていただき支えられながら充実した毎日を過ごしています。失敗して悩むこともありますが、学習や部活動、学校行事などに一生懸命取り組む生徒の姿に励まされています。これからも、生徒一人一人との関わりを大切に、共に成長していけるよう精一杯頑張ります。

### 「信じること、信じられること」

桜井中学校 白井紗佳

桜井中学校に赴任し、はや5か月がたちました。私にとっても生徒たちにとっても初めての体験にあふれていたこの5か月。決して楽しいことだけではありませんでしたが、それでも毎日笑顔で過ごせたのは、生徒たちと周りの先生方の助けがあってだと思います。生徒たちや、先生方の信頼に応えられる教師であることが、今の私の目標で、日々のめあてもあります。これからも生徒たちと共に過ごす時間の中で、努力しながら互いに成長していきたいです。

## 特色ある教育活動の紹介

～地域と関わり、地域を知り、地域への愛着を育む取組～

黒部市立中央小学校

地域のことを知ろうとすることで、地域に対する愛着も膨らむ。現地に出向いたり学校へ来ていただいたりするなど、地域の方々と直接関わることで、人とつながる力も育つ。そのため本校では、地域や外部支援者との連携や地域の人材活用にも積極的に取り組んでいる。

### <様々な地域の方に出会った町探検(2年生活科)>

2年生は、生活科の学習を通して、自分を取り巻く地域に親しみを持ち、主体的に働きかけていく子供の育成を目指している。美容室ではいくつものピカピカのハサミに目を丸くし、造園屋さんでは地下足袋を見て「忍者みたい」と興味津々。聞きたいことがいくつもあって、質問が止まらない。探検を終え、多くの出会いと発見をした子供たちの顔には、喜びと驚きが満ちている。忙しい仕事の合間を縫って笑顔で向き合ってくださいる地域の方々の存在への気付きもある。毎日、何気なく過ごしていた地域が子供たちにぐっと近づいたように感じることで、教師も地域とのつながりを強くしている。



【美容室の訪問】

### <「大布施の自まんを紹介しよう」(3年総合的な学習の時間[かがやき])>

3年生は、総合的な学習の時間に「大布施の自まんを紹介しよう」の学習に取り組んでいる。7つのテーマ（白ネギ、みそ、米作り、流水客土、カラーレ、福祉センター、パッシブタウン）に分かれ、自分たちが住む大布施地区の自然や産業、暮らし等について学習している。実際に見学し、携わっておられる地域の方に仕事のことやその工夫、思いや夢などについて教えていただいた。最後には、自分たちが調べたことを保護者に紹介しようと学習を進めている。学習を通して、子供たちがふるさとの自然や伝統のよさを感じながら生活してくれることを願って取り組んでいる。



【パッシブタウンの見学】

### <「みんな仲間ー共に生きようー」(6年総合的な学習の時間[かがやき])>

6年生は、夏休みに福祉体験に取り組んでいる。7つのグループが、地域の老人福祉施設や保育所を訪問し、それぞれ約半日の体験を2日間行う。そのための各施設との打ち合わせも子供たちの役割である。体験活動を通して訪問先で働く人々の仕事や利用者の様子を知り、自分にできることを見付けて自ら進んで地域の方と関わっていく力を育てたいと考えている。一連の活動から得るものは大きく、体験後の感想には、「職員の方がお年寄り一人一人に気を配っている」「笑顔で心がけている」などの気付いたことや、「まず、相手の話を聞いてから行動したい」「表情を優しくすると小さい子供たちが寄ってきてくれる」などと自分を見つめ直す内容が記されていた。2学期には、体験したことや感想を伝え合う場を設け、思いや考えを互いに共有するなど、学び合いを通して自分の生活に活かしていくことにしている。



【お年寄りと将棋を楽しむ子供たち】

### <地域の講師を活用したクラブ活動>

クラブ活動では、手話クラブ、茶道クラブ、編み物クラブ、手芸クラブ、国際料理クラブの5つのクラブで地域の講師を招いて、交流しながら楽しく活動に取り組んでいる。国際料理クラブでは、校区に住む講師（中国生まれの方）の指導で水餃子を作り、おいしくいただいた。中国では、水餃子を正月などのめでたいときに作って食べることを知った。他国の文化について体験を通して理解する機会となっている。



【水餃子を作る様子】

# 豊かな心の育成を図る取組

## ～特色ある教育活動の紹介～

黒部市立村椿小学校

本校では、全教育活動を通して「豊かな心の育成」を図っている。そのなかで長年受け継がれ、現在も教育課程やPTAの活動に位置付けられている教育活動がある。

### 1 3K教育の推進【玉椿賞】

教育目標を具現化した3K教育

昭和42年度より、未来を拓く村椿の子供たちに椿の花のような優雅で洗練された美しさを備えてもらいたいと椿の花にその願いを託し、3K教育の実践者を毎月の玉椿集会で表彰している。授与されたしおりには努力したことと担任からの賞揚が記されている。自ら目当てを立て実践することを通して、主体性と自信、向上心を育むことをねらいとしている。

1K賞（徳）助け合う子（黄色のしおり）  
2K賞（知）よく考える子（赤色のしおり）  
3K賞（体）元気でやり抜く子（緑色のしおり）

### 2 卒業生に贈る詞【賞詞】

30年余り続いている「賞詞」は、毎年、卒業証書授与式に卒業証書と共に贈られている。校長先生に一人一人読んでもらい、卒業生にとっては、よい思い出と励みになっている。一人一人を大切にする教育活動につながっている。

賞詞

○○ ○○  
あなたは、自分の意思としっかりと  
もら、積極的に活動しました。明るく  
前向きで、リーダーシップを……

### 3 命の教育【さけの孵化と飼育活動】

平成7年より11月中旬に県から恵与していただいた受精卵を孵化させ、成長した稚魚を3月上旬に飯沢川に放流している。さけの生態の変化を観察や記録することで生き物の神秘や命の大切さを学んでいる。また、平成14年よりさけの遡上する時期に合わせて、本校西側を流れる飯沢川の清掃を行い、自然と川の環境保全にも努めている。



さけの観察をしている様子

### 4 地域と一体となって取り組む環境教育【荒俣海岸・湧水公苑清掃活動】



早朝の湧水公苑清掃

荒俣海岸清掃（昭和60年～）は、7月の第一日曜日に村椿地区住民が中心となり、児童・保護者も参加し清掃活動を行っている。また、6年生は自然保護を呼びかけるポスターを制作して、設置している。湧水公苑清掃（平成5年～）は、4年生以上の児童と保護者が参加して地域の顔である生地駅周辺の美化に取り組んでいる。

### 5 地域の人材を活用した教育活動【吉田科学館でのクラブ活動・三世代交流会】

平成25年より吉田科学館で「化学工作クラブ」を行っている。毎回、楽しい実験や工作を教えていただき、科学や物作りへの興味を育む時間となっている。三世代交流会は、長年にわたり、慶寿会や公民館、PTAと協力して行っている。地域の方々とはふれあいを深め、伝統を大切にする活動となっている。



吉田科学館での実験



三世代交流会の様子

以上の活動は、諸先輩方や地域の方の知恵や努力により現在まで受け継がれてきている。一つ一つの活動に意義があり、子供たちの健やかな成長を願ったものである。今後も黒部川によって豊かな自然環境に恵まれていることに感謝し、地域の皆さまの協力を得ながら「豊かな心の育成」に取り組むたいと考えている。



## 夏季研修会を終えて



### 【体育実技研修会】(7月26日、たかせ小学校)

教育センターでは、若手教員向けに体育実技研修会と教科指導研修会を隔年で実施しています。今年度は、東部教育事務所から 古市 茂 指導主事をお招きして、体づくり運動と器械運動を中心に体育実技研修会を開催しました。

若手を中心に20名が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中で研修を行いました。安全面と楽しさを意識することや「できた」と感じるレベルは一人一人違うということなどを教えていただきました。また、器械運動のDVDを視聴し、留意点を確認しました。このDVDは後日、各小学校へ配布させていただきました。ご活用下さい。



### 【特別支援教育に関する研修会】(7月29日、市教セ)



にいかわ総合支援学校の 大村 和彦 先生をお招きし、通常級における特別支援教育という視点からお話をいただきました。子供の問題行動に関しては、その本質である原因仮説を考えると教えていただきました。

後半の講習会では、インシデントプロセス法を取り入れた事例検討を行いました。4～5名のグループに分かれて事例を挙げてもらい、その子について質問したり、どのような支援ができるかを考えたりしました。あまり時間をかけずにできる検討会のやり方を学ぶことができました。

### 【学級運営研修会】(8月1日、宇奈月小学校)

上越教育大学の 西川 純 先生をお招きして、アクティブ・ラーニングに関する講演会を開催しました。学習指導要領改訂で話題になっているアクティブ・ラーニングの1つ、『学び合い』についてお話いただき、授業の動画も視聴させていただきました。百聞は一見に如かずで、「へえ、こんな風にやるのか」「なるほど」という声があちこちから聞こえてきました。

また、4～5名のグループになって、実際に『学び合い』を行った際の予想される問題点について話し合い、先生にすべて答えていただきました。

「週に1回でもやってみたい」という前向きな感想が多く、先生方のやる気を起こさせる研修会となりました。



## 【英会話科指導者研修会】(8月3日、中央小学校 / 9日、宇奈月小学校)

7月28日に「英会話科実技研修会」が行われたのに続き、英会話科指導者研修会が2日間に分けて行われました。前半は、東部教育事務所から浦田 栄信 指導主事をお招きし、学習指導要領改訂について、英語教育に関する考え方や英会話科授業のポイント等をお話しいただきました。

後半は、ALTやJATと文字に親しむ模擬授業を行い、参考にしていただきました。その後、各学年のグループに分かれ、英会話科公開授業の単元構想やねらい、活動等について話し合いました。指導案作成の参考になったと思います。



## 【情報教育実技研修会】(8月4日、鷹施中学校)



株式会社エルモから伊藤 洋平 先生をお招きし、書画カメラに関する講義・演習を行いました。書画カメラの場面による使い分けや、静止画や動画の撮影・保存方法等、様々な機能についてお話しいただきました。参加者は電源コードを入れるところから実際に行い、「この機能は面白い」「これ便利」と話しながら、様々な機能を試していました。

後半は、情報教育研究委員に講師となつていただき、参加者一人一人のニーズに応じて、パソコンソフトの使い方等を指導していただきました。

## 【生徒指導に関する講演会】(8月10日、宇奈月小学校)

東京学芸大学の 大河原 美以 先生をお招きし、「感情をコントロールする力はどのようにして育つのか」という演題で講演会を開催しました。これは、魚津地区4つの教育センターが共同して行う事業の1つです。今回の講演会には市内外から180名以上の方が参加され、熱気あふれる講演会となりました。

先生からは、子供の脳の育ちやメカニズム、感情コントロールのプロセスとその支援の方法等を、具体的な事例とともにお話しいただきました。また、不快感情をきちんと表現できるように育てることが人権尊重につながると教えていただきました。

受講者の感想には、「感情をコントロールできない子供の行動を思い出しながら聴いた。具体的な事例を通して考えることができ、よかった」「不快感情と上手に付き合うこと、決して押し込めないことが大切だと分かった」「とても困っていた子供の行動の見方が、少し変わった」「大人と子供では使う言葉の意味が違う。子供の言葉の意味合いを考えてやることが大切だと分かった」など、子供との関わりを考慮するような内容が多く見られました。



# 英語サマーキャンプ

English Summer Camp



8月17日(水)から19日(金)まで、黒部市ふれあい交流館「あこや〜の」で英語サマーキャンプを行いました。小学校5・6年生と中学校1年生の計52名が参加しました。指導者として、ALTや英会話講師の他に桜井高校英会話部の生徒も参加してくれました。2泊3日の活動内容を簡単にお知らせします。



## <1日目> ALTインタビュー、スポーツタイム、キャンプファイヤー

- ・ALTインタビューは、子供たちがALTに少なくとも1回は質問するような活動です。主体的に英語で会話をするにつながったようです。
- ・今年度からスポーツタイムを取り入れました。フリスビー等のスポーツ活動の中で、自然に英語で声を掛けたり、分からないことを聞いたりしていました。
- ・午前中に雨が降り、実施が心配されたキャンプファイヤーですが、午後からは天候もよくなり、楽しく行うことができました。

## <2日目> バーベキュー、英語ワークショップ(エコバッグづくり等)

- ・バーベキューでは、トルティーヤを作りました。子供たちの感想にも「外国の料理などがいろいろ分かってよかった」とあり、食文化の違いを感じるよいきっかけになったようです。
- ・英語ワークショップでは、作品の作り方の説明や材料の受け渡しで英語を使うことが必須となり、必要感に迫られて、多くの会話がなされていました。



## <3日目> プレゼンテーション(英語劇)

- ・プレゼンテーションの内容は、昨年同様、みんながよく知っている昔話等をもとにアレンジし、劇に仕立てました。物語の内容をふまえて、英語のせりふや表現方法を工夫していました。参観された保護者の方々にも大好評でした。

## 新ALTの紹介

8月から着任した新ALT 2名を紹介します。



### ジャック・ゴードン

皆さんこんにちは。私はニューヨークから来ました。趣味は、卓球とギターです。また、ジャズとクラシック音楽が好きです。同じような趣味の方は、ぜひ声を掛けてください。皆さんと会えること、そして黒部の一員になれることに、すごくワクワクしています。よろしくお願ひします。



### サマンサ・マグワイヤー

こんにちは。私はアメリカのオハイオ州コロンバスから来ました。黒部で働けることになり、とても嬉しいです。私はダンスと音楽を聴くこと、そして新しい食べ物に挑戦することが大好きです。私を見かけたらぜひ声を掛けて、お薦めのレストランを教えてください。よろしくお願ひします。